

## 令和5年度 第1回 北海道恐竜・化石ネットワーク研究会 議事概要

### <概要>

○日 時：令和5年(2023年)6月13日(火) 10:00~12:00

○場 所：オンライン(Zoom)開催

○出席者：別紙「出席者名簿」のとおり

○次 第：

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1)令和4年度の主な取組について(報告)

(2)令和5年度の取組について(案)

(3)各博物館・団体等からの話題・情報提供について

4 その他

5 閉 会

### 1 開会

#### [北海道・小林]

- 時間となったので、令和5年度第1回北海道恐竜・化石ネットワーク研究会を開催する。本日の司会を務める小林。どうぞよろしくお願いいたします。
- 開会にあたり、北海道総合政策部地域政策課地域資源活用担当課長の守屋よりご挨拶申し上げます。

### 2 挨拶

#### [北海道・守屋]

- 北海道総合政策部地域政策課地域資源活用担当課長の守屋。本日はお忙しい中、オンラインでの会議にご出席いただき、感謝。
- 4月から新たに地域資源活用担当課長に着任した。これからどうぞよろしくお願いいたします。
- 5月8日以降、新型コロナが5類に移行され、各地にインバウンド・アウトバウンド含め急速に人々に賑わいが戻っていると感じる。各地域もこれまで実施できなかった参加型の事業の再開などアフターコロナとして様々な活動が行われていると思うが、道としても北海道の恐竜・化石の魅力をさらに積極的に発信していきたい。
- 本日は昨年度の取組の報告と、クラウドファンディングにより資金を調達し作成した「ほっかいどう恐竜・化石カレンダー」活用についての意見交換を行うとともに、各市町の最近の活動などについても情報提供いただきたい。
- 今年度の取組については後ほど詳しくご報告するが、夏休み時期にはカレンダーの配付キャンペーンにより各施設の誘客の強化、その他PRイベントを実施したいと思う。また、来年の1月2月には首都圏の集客力のある商業施設でのPRイベントも考えている。
- 一昨年から皆様のご協力で進めているオリジナルフレーム切手を今年度中に商品化し、後ほど

説明する首都圏でのイベントで発売する予定。

- 今回作成した、北海道恐竜・化石カレンダーの活用を初め、今後も本研究会への連携願う。

### 3-1 議題(1)

#### [北海道・小林]

- 議題(1)、令和4年度の主な取組報告について。
- まず、「ほっかいどう恐竜・化石カード・マップ」の配付キャンペーンについて。昨年度は7月17日から8月21日までの約一ヶ月間実施。内容としては、恐竜・化石を展示している博物館等への訪問を促すキャンペーンとして、12市町の博物館等にご協力いただき、入館した希望者にカードとマップ配付し、異なるカードを3種類集めるとレアカードをプレゼントした。結果として、合計でカード約3,000枚、マップ約900部を配付したので在庫はほぼなくなった。
- 次に、「みんなおいでよ！恐竜・化石大陸ほっかいどう展 2022 オータム」の開催について。10月1日から2日の土日に、イオンモール札幌発寒のすずらん広場付近で開催。内容は、体験ブースとしてAR撮影体験：むかわ町、ミニ発掘体験：足寄町、展示ブースとしてむかわ竜1/5骨格レプリカ：むかわ町、デスモスチルス／アショロア骨格レプリカ：足寄町、ヌマタネズミイルカ骨格レプリカ：沼田町、異常巻きアンモナイト化石標本／ウラホロミガキボラ化石標本：浦幌町、パネル・ポスター展示として三笠市、八雲町となった。来場者はイベント全体で1万人程度、AR体験は人数を計測できなかったが数百名程度、ミニ発掘体験は416名の方が参加。
- クラウドファンディングについては、「ほっかいどう恐竜・化石カレンダー」を制作するためにクラウドファンディングを実施した。実施期間は8月10日から10月31日まで。目標額は50万円としていたが、結果は合計83万4千円。道内外の個人127名、道内企業を4社から寄附いただいた。カレンダーの内容は見開きA3の16ページフルカラーを5,000部制作。後期白亜紀からの1億年を1年365日に換算したカレンダーで、時代ごとに繁栄した12市町や、北海道博物館ゆかりの古生物や北海道の成り立ちについてご紹介する内容になっている。併せて12市町の特徴や各展示施設の見所を紹介している。
- 制作にあたり、皆様のご協力に感謝。
- 令和4年度の取組についての報告は以上となるが、何かご意見やご質問などあるか。

### 3-2 議題(2)

#### [北海道・小林]

- 続いて、議題(2)今年度の取組(案)について。
- 本年度の取組については、まずカレンダー配布キャンペーンと考えている。また、今年も、皆さんと共に恐竜・化石大陸北海道を発信するイベントを開催したい。
- そして、一昨年から引きずっているオリジナルフレーム切手の制作についても、今年こそ完成させ、イベントでの販売を考えている。
- 具体的に、恐竜・化石の展示施設訪問を促すため、来館した方に、カレンダーの配布をしたいと考えている。
- ただ、来館者にカレンダーを配布してしまうと、すぐに底についてしまうとか、カードの時にあった入口でカードをもらって、施設の中を見ないで帰ってしまうということがないよう

に、施設の魅力を感じていただきたいということで、来館者にはクイズを出題し、答えていただいた方にプレゼントするようなことで考えている。配布する施設は12施設の展示施設プラス北海道博物館。

- 期間は、7月17日道民の日から8月の夏休み期間中で約20日間を想定。
- 続いて、恐竜・化石大陸北海道展2023（仮）の開催について。過去2回は札幌市内のショッピングモールでイベントを行ってきたが、今年度はチャレンジをしてみたいと思っており、埼玉県越谷市のイオンレイクタウンでイベントを行いたい。イオンレイクタウンは日本で最も大きなショッピングモールとなっており、土日の来客数は10万人～15万人というような大変集客力の高い施設。こちらで、来年の1月～3月ぐらいで調整しようと考えている。
- 内容としては、札幌でのイベントと同じようなイメージで、化石骨格レプリカ・ポスター・パネルの展示、AR体験・発掘体験など体験ブースの設置。そして小林先生のステージイベント、講演会などを考えている。
- 皆様にも旅費の関係など色々あるので、埼玉県越谷市に来てほしいと言っても、なかなか旅費が大変だと思う。
- 後ほどご意見願う。
- 依頼事項として、展示施設において、クイズの作問及びカレンダーの配布を願う。具体的に館内にテーブルを置き、紙とペンを用意していただき、そこで館内を見学すると答えられるようなクイズを作成していただき、それに回答していただいて、正解であればカレンダーを配布していただきたいと思う。
- クイズのフォーマットは道で作成するので問題のみ作成をお願いしたい。
- 冬以降に開催する埼玉でのイベントへのブース出展・PR資材の提供をお願いしたい。
- この場で本日欠席の市町が3つほどあるが、先にクイズを作って正解した方にカレンダーを配布するためにご協力いただきたいが、対応が難しい施設はあるか。

#### **[むかわ町穂別博物館・櫻井]**

- 確かに入り口だけで、持って帰られるのは本来の主旨ではないと思う。本当に見た方に持って行ってもらいたいと思うところだが、当館の状況で言えば、クイズを作るまでは問題はないが、中に机を設置する場所が作れるかという点と、クイズを窓口などに持ってきてもらって、確認してカレンダーを渡すというのが、普通の時であればいいが、夏休み時期や、お盆時期は特に混み合うので、そのときにどこまで対応できるかがわからない。難しい気がする。

#### **[北海道・小林]**

- そのようなことは多々考えられるので、どのようにすれば、館内の皆様のお手を煩わせず、スムーズにできるか、検討する。
- 例えば、入館料を払う受付のあたりなどに回答用紙を置くのも難しいか。

#### **[むかわ町穂別博物館・櫻井]**

- 用紙を持って行き記入してもらおうのを各自で行ってもらう分にはできなくはないと思うが、それを受け取り、中身を確認し、カレンダーを渡すとなるとその対応が混み合っている時だと後回しになってしまう気がする。

#### **[北海道・小林]**

- 皆様少ない人数で管理運営されているのは重々承知しているので、なんとかトラブルなく、スムーズにできる方法をもう少し考えます。またご相談させていただきます。

#### **[三笠市立博物館・加納]**

- 内容についての問題点は櫻井館長とほぼ一緒だが、このやり方ではうちで絶対にできないという自信がある。そもそも当館一日 600 人程の来場者がある状況で、プラス入館料を払っていない小学生未満の方もいる。その数も合わせるとかなりの数になる。
- あと、各館に何枚ずつ配布されるのか、割って 500 枚と考えてもうちはすぐになくなってしまふ。
- クイズの紙を配ってそれを正解かどうか見てカレンダーを配るのはうちのスタッフの状況を見れば物理的に無理。

#### **[北海道・小林]**

- 一日 600 人も来るのであれば難しいというか無理ですね。
- もう少し違ったやり方を検討する。メール等でご相談させていただく。

#### **[むかわ町穂別博物館・櫻井]**

- 夏場はどうしても各博物館それぞれ博物館たくさん人が来られるときで、逆にあまり来られない、冬場の時期を目指してそれを来てくれるきっかけにする考え方もあるのではないかな。
- 閑散期であればこちらも多少余裕はあるので対応はある程度できると当館は思う。

#### **[北海道・小林]**

- 加納館長、今の櫻井館長の冬場の閑散期だったらというのは、三笠市としてはどうですか。

#### **[三笠市立博物館・加納]**

- 再検討の余地はあるが冬場に 1 ヶ月間工事で休館する予定があるのでまだわからないが可能性としてはあり得る。
- それはさておいて、もともとカレンダーの配布数が少ないので、例えば配布期間を 3 日間ぐらいにして、道からイベントとして職員を派遣できないのか、それなら配布することは可能。

#### **[北海道・小林]**

- 5000 部なので 12 市町で割るとそれなりの数もそんなに配れないと思うが、道から職員を派遣するとなると、なかなかハードルが高い。
- 時期をずらしたり、時期を狭めるなどいろいろな観点から検討する。
- 他の施設の皆様、ご意見はあるか。

#### **[沼田町化石館・長野]**

- 冬の閑散期の話があったが、当館が 11 月から 4 月まで閉館に入るので、もし可能であれば、配布する施設を時期によって分けるとありがたい。

#### **[北海道大学総合博物館・小林]**

- これは以前の、カードと違い、色々な施設を回って種類を集めなかったのが意味があったと思うが、今回のカレンダーは同時期にやる必要があるのか。
- ないのであればそれぞれの館に配布時期や、開催時期をお任せすればいいのではないかな。
- 同じ時期にやる必要が果たしてあるのかちょっとわからない。

#### **[北海道・小林]**

- キャンペーンと銘打ってしまった手前、一斉にやらなきゃというのがあったが、ご指摘のとおり

り、それぞれの施設のより良いときにやっていただくおまかせ方式でもいい。

- 実際に冬は閉館してしまうところもあるので、皆様の事情も踏まえ再考する。

#### **[足寄動物化石博物館・安藤]**

- 確かにクイズだと確認の負担が大きいので、アンケートだと逆にお客さんからこの展示が良かった等のご意見など情報を集めやすくなるので、そのような形で可能であればやりやすいと思う。

#### **[北海道・小林]**

- 館長の意見も踏まえ、もう一回考える。もう少しお時間いただければと思う。

#### **[北海道・小林]**

- もう一つ、来年の1、2、3月頃に、埼玉県越谷のイオンでのイベントを考えている。まだイオンと調整中で、イベントスペースを使わせていただけるか、日にちなどは決まっていなく、イオンにお願いしている状況。
- 何月になるか不確定ではありますが、こういったことを埼玉県越谷でやるとなったら、出展できる方、もしくは絶対に無理という方、ご意見をいただきたい。

#### **[足寄動物化石博物館・安藤]**

- 今更当たり前の話だが、行くとしたら自腹で行くと思うが、当館は行くという流れになる気がするが、札幌で行ったイベントでも道内各地から参加するというので、費用の点で結構困難があったというような印象を持っている、埼玉で行うとなった場合なおさら出しにくいという印象があるが、どのようにお考えか。

#### **[北海道・小林]**

- 過去2回札幌でイベントを行ってきて大好評だったこともあり、今度は、首都圏で発信したいという思いがあり、ピックアップしたものになる。
- そもそも皆様の旅費が足りないというところは、前々から聞いていましたが、例えば一人だけなら出せるというのであれば、私どもでフォローするなど、そういった形でも来ていただけないかというご提案。

#### **[足寄動物化石博物館・安藤]**

- 道のほうからは何人ほどスタッフを派遣できそうなんですか。フォローにも限りがあると思うが。

#### **[北海道・小林]**

- 旅費がある限りというところではあるが、可能な限り7人とかで行こうと思っている。

#### **[足寄動物化石博物館・安藤]**

- 足寄は出たいという意向を持っていると言うことは伝えておく。

#### **[沼田町化石館・長野]**

- 沼田もできれば参加したいが、ただ、1点質問があって、例えばPRで、レプリカなどを持って行くとして輸送代はそれぞれの博物館の負担なのかもしれないもしくは北海道でトラックを借りて持って行ってくれるのか。

#### **[北海道・小林]**

- 展示物の輸送などは各自でお願いしたいと考えている。
- 私どもは発寒イオンの時と同じようにイベントスペースでパネルとかステージとかモニターの準備をし、場を作るところまでは考えているが、展示物の輸送や職員の旅費はだしかねる。

### **[足寄動物化石博物館・安藤]**

- 同じ意見だが、せっかくブースをだすのであればやはりレプリカなどの展示がないと、面白くないというか魅力が伝えずらい気がする。
- 先ほど長野さんがおっしゃった、まとめてレプリカなど展示物を送れるというのについては、もう一度検討していただきたい。
- 人は出せないが、ものは出せるというところだとよりアピールが多彩になると思う。
- 例えば、札幌まで持って行くとか、送るなどすると現実的になる、札幌に集めてから埼玉までは道の方でやっていただけると助かる。

### **[北海道・小林]**

- 検討はしてみるが、今お答えするのは難しい。

### **[八雲町郷土資料館・大谷]**

- 自前の旅費で現地へ行くのはできませんが、パネルなどの提供は可能。

### **[浦幌町立博物館・持田]**

- 根本的に博物館の業務を道は勘違いしているのではないか、レプリカを含め、資料をどこかへ出すとなると、少なくとも前年度のうちにどこの館でも計画を立てて、輸送費も含め、資料をどう動かすかということはかなり長期的に計画をたてている。
- 人の旅費以上に物を動かすことに関してずいぶん簡単に考えているような印象を受ける。
- 昨年度の事業もそうだが年度に入ってから事業の話を提案されることが多いですが、基本的に仕事の仕方として間違っている。
- 我々は年度単位で予算を取ったり、事業計画を立てているので、これだけの規模のことを考えるのであれば、むしろ年度内ではなく来年度、再来年度も事業として計画を立てて提案するのが本来の仕事ではないのか。その辺どう考えているか。

### **[北海道・小林]**

- その通りだと思う。皆さんも、年度内の札幌開催も無理をして、出てくださって調整して下さったところもあるのかなと思うが、今年度については、私どもも知事選がある年は7月以降に予算がつくということで、予算付けされたのが5月のことで、2月や3月にご提案することができなくこの時期の話になってしまい、大変申し訳ないと思っている。
- 今後はできるだけ年度内に次年度事業のご説明するなど、できるだけ皆さんにご準備いただける期間を設けたい。
- 今回のご提案で出展することが難しいということであれば、場所を含めて再度検討する。
- 今後、出展意向調査などを実施する。

### **[浦幌町立博物館・持田]**

- 当町は予算規模が小さく、例えば、5万円利用するだけでも、起案を起こし、財政課との協議をしている現状で、いきなり予算のないことをやれというのはすごくハードルが高いのでもう少し、早め早めに予算を出さなければならないので、それこそ春頃にはお話いただきたい。
- そうでない今後、このような話には絡んでいけないというのが実情です。

### **[むかわ町経済恐竜ワールド戦略室・太田]**

- 皆様のご意見とかなり、似ているところはあるが、ただ、当町としては、PR というところでは、なんとかできる範囲でPR していきたいと思うので、予算措置の部分は別として、できる

ことに関しては、ご協力させていただきたい。

**[北海道・小林]**

- 皆様のご事情、十分承知。今後、先ほども言いましたとおり意向調査をさせていただく。その上で、なにができるか再度検討して、お願いしたいと思います。

**[北海道・小林]**

- オリジナルフレーム切手の制作について、まだデータが埋められていない部分がありますので、今後、データをいただいて、制作していきたいと思っている。
- 印刷等に3ヶ月程度かかるとのことなので、今年の秋ぐらいには商品化ができる予定。
- 当初の予定では冬のイベントに郵便局から出向いていただき、販売するブースを考えていたが、もう少し改案し、いつどんなタイミングで、商品発売をするのが良いかを検討する。
- まずはデータや、オリジナルフレーム切手のデザイン等を皆様からのご意見を今後聞いていきたい。

**[北海道・小林]**

- 前回のネットワーク研究会の時に小林先生から提案をいただいた、北海道新聞社が出版する古生物の書籍の巻末で12市町のご紹介をいただけるということで、北海道新聞社と話を進めているところですが、イラストの方の制作に時間がかかっているということで、販売そのものが延期になっていると聞いている。
- 秋頃に北海道新聞社から連絡が来ることになっているので、12市町の展示施設のご紹介の部分、皆様にも内容確認や写真をお願いすることが出てくると思う。
- 続いて、年間スケジュールですが、皆様のご意見をいただいたところ、このスケジュールも大幅に変わるとお思いますので、調整の上、また改めてお示しします。

**3-3 議題(3)**

**[北海道・小林]**

- 続いて、議題(3)各博物館・団体等からの話題・情報提供について。

**[三笠市立博物館・加納]**

- 2月から5月上旬にかけて博物ボランティアの会と共同開催で北海道のアンモナイトという展示会を開催し、300点近くを展示し、非常にたくさんの方に見ていただいて、非常に盛況であった。

**[むかわ町・太田]**

- 今年の2月に札幌市で開催されたさっぽろ雪まつりで「白亜紀の北海道」というタイトルの大雪像が制作され、そちらのモチーフとして、当町から産出した、カムイサウルスを採用いただいた。
- 今回、来場者数が1週間で175万人ということで、国内外たくさんの方に、北海道の恐竜や、北海道の化石について知ってもらいきっかけになったのではないかなと思う。
- それと、先日5月27日には、国内で恐竜化石を産出する自治体が互いの地域の活性化のために連携する日本恐竜協議会という枠組みがあり、こちらの総会を当町で開催した。
- 今回の総会で、熊本県天草市の加入が決定し、協議会の加盟自治体が6市4町の計10自治体

となった。

- 今後もお互いのイベントの出展に協力し、取組を進めていきたい。
- 博物館周辺の再整備や、胆振東部地震やコロナ禍の影響で、賑わいが失われてしまった市街地の再生を図る。復興拠点施設等整備事業1の基本設計をまとめた。
- 今年度は、町民説明会などを通して、町民の意見を受けながら、今年度は実施設計の作成に取り組む。
- 博物館の新設については、令和8年の春のオープンを目指して、進める。
- 最後に、北海道大学総合博物館の小林快次教授にむかわ町穂別博物館の特別顧問に就任いただいた。今後は、穂別博物館の取組や、魅力向上について、ご助言をいただきながら取り組んで行く予定。

#### **[小平町企画振興課企画振興係・宇野]**

- 今年も小中学生を対象とした化石発掘体験を行います。

#### **[足寄動物化石博物館・安藤]**

- 昨年度、当町のアショロアとベヘモトプスの化石が天然記念物になったことで、現地の場所を示す看板が新しくなり、より化石のことを知ってもらうことができるかなと思う。
- 今年度当館が25周年で、大規模なイベントは考えてないが、先ほど話題にも上がっていた、北海道の化石の書籍に関するイベントや、当館には大樹町の鯨や浦幌町のアロデスミスも置いてあるが、これらの復元骨格を作成し、道内の化石についてもっとアピールできるような取組をしていきたい。
- 書籍の出版がいつになるかわからないところもあるが、それに合わせて原画展などを25周年事業の一環としてやっていきたい。

#### **[沼田町化石館・長野]**

- 沼田町も今年会館15周年になるんですが、初めての試みとして、8月と10月にナイトミュージアムを行う予定です。
- それ以外に、先ほどの足寄町さんと同じように、絵本のイベントに関連したイベントも考えております。
- 7月には例年通り化石採集会を予定しております。

#### **[八雲町郷土資料館・大谷]**

- 7月1日に町内の小学生向けに化石採集体験学習を行う予定。
- また、例年通りだと、9月に八雲小学校6年生全員に理科の授業と関連して、化石採集体験と解説を予定。

#### **[枝幸町社会教育課・高島]**

- 秋口に町内の小学校6年生の地層学習と関連して化石の体験発掘を予定。
- 調査の方は、昨年秋から今年度断続的に3回くらい行っているが、初めてデスモスチルスの頭蓋骨の化石を見つけることができた。
- 発見された化石は全体のごく一部だが、足寄町と連携しながら調査を継続する。

#### **[浦幌町立博物館・持田]**

- 浦幌町は博物館の主催行事はしばらく化石関係ではないが、地質地層関係については、先週の金曜日に今年度最初のKPG事業の調査が入り、地層のクリーニング作業を行った。



- また、コロナでしばらくなかったが、小学生の化石事業についても本年度は2校ほど問い合わせが来て、徐々に町内の地層古生物の教育面での活用を図っていききたい。

#### [北海道・小林]

- 皆様にご提案するにあたって色々課題をいただいた。今後の会議の運営含め、善処していききたい。
- 先ほどの配布キャンペーンのことと埼玉県でのイベントのこと、改めて、整理した上で、皆様とお話しできればと思う。

#### [八雲町郷土資料館・大谷]

- カレンダーで書いていただいた、バイソンのイラストを資料館に展示することは可能か。

#### [足寄動物化石博物館・安藤]

- こちらは、基本的にOKだが、あのイラストはカレンダー用に出したもので、個別に調整していただければと思うので、連絡して欲しい。

#### [八雲町郷土資料館・大谷]

- よろしく願います。
- もう1件、隣の今金町さんの方からこの研究会に興味を持っているが、新規会員はどのように受付しているのか。

#### [北海道・小林]

- 2年前に5市町から12市町に増えて、特段、毎年募集はしていないが、参加の意向があるということでしたら、お声がけしたい。
- 各市町村に行くどこかのタイミングで道庁から一斉に、お声がけしたいと思う。

## 4 その他

#### [北海道大学総合博物館・小林]

- 道庁の皆さんいろいろな計画ありがとうございます、毎年企画を行っているが、色々な展開があり、本日のお話で皆さんの配布の件の問題であったり、イオンモールの旅費や、運搬費の問題もありますが、皆さんが本当にお忙しいのと予算が限られているのもよくわかっている。皆さんの予算の立て方と執行の仕方のスケジュールは不具合があったりするが、このような会が持てることで皆さんが交流できることと、イオンの件などもチャンスと捉えるか、負担と捉えるか。トライしながら色々学んでいって、体制を作りながら維持できるような形でいければと思うので皆さんの積極的な意見や質問は、今後の運営で非常に参考になる。継続して皆さんと一緒に発展していきたいし、ネットワークに参加したい自治体があるのは非常に喜ばしいことなので、皆さん今後もよろしく願います。

## 5 閉会

#### [北海道・小林]

- 本日の議題は以上。様々なご意見をいただき感謝申し上げます。恐竜化石北海道が道内だけでにとどまらず、全国に、海外にも発信していきたいという強い思いを持っておりますので引き続きご協力願う。

- これを以て本会議を終了させていただく。

(敬称略)